

「全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業(日本一施策事業)」
選定取組一覧(昨年度以前からの継続取組)

[取組の類型]

区分	考え方
① トップクラス (日本でトップクラス)	活動量やその成果などが客観的・定量的に全国でトップクラスにあるもの
② 独自性 (日本で唯一、宇都宮独自)	地域の資源やアイデアを活用し、宇都宮らしさや獨創性・独自性があり、「宇都宮オリジナル」や「宇都宮モデル」として全国に誇れるもの
③ 先駆的 (日本で先駆け)	市民ニーズや時代の趨勢を見据え、全国に先駆けて取り組むもの

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<健康・福祉・安全分野>17取組					
1	「コールセンター及びインターネットを活用した集団健診の予約受付」の実施	集団健診の予約受付について、専用ダイヤルによるコールセンターを設置するとともに、インターネットによる「集団健診予約システム」の稼働により24時間の受付を可能とし、働く世代など、市民のライフスタイルに応じた利便性の高い受付を行う。	独自性 先駆的	H28年度	健康増進課
2	健診PR応援事業	特定健診やがん検診等の受診率向上を目的として、市が実施している全ての健康診査の受診者に対し、「健診PR応援企業として市に登録した企業」による特典サービスの提供を行う。	独自性	H26年度	健康増進課
3	子育て世代の託児付き子宮がん・乳がん検診の実施	ボランティアサークルの協力のもと、託児が無料でできるがん検診を実施	独自性 先駆的	H22年度	健康増進課
4	自死遺族支援のためのマニュアルの作成	支援する者が自死遺族に対して適切に支援できるように、遺族への接し方や、保険の手続きなど遺族が行うべき必要な情報などをまとめたマニュアルを作成し、保健師や行政関係職員、民生・児童委員、消防職員、警察官、葬儀社など自死遺族の支援を行う者に配布	先駆的	H26年度	保健予防課
5	食品安全条例の制定	食品の安全確保に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画の策定や不良食品を排除するための「自主回収届出制度」などを規定した条例の制定	先駆的	H19年度	生活衛生課
6	医療機関の連携による二次救急医療体制の構築	救急告示医療機関の連携を強化し、新たに協力病院を位置づけ、輪番制病院を支える体制を構築・稼働。円滑な救急医療運営体制を確保するため、財政支援等を実施	独自性 先駆的	H21年度	保健所総務課 警防課
7	保健情報誌「みや健康ナビ」の発行	感染症や食中毒予防など、日常生活に密着した保健情報を提供(年1回発行)。モニター調査員制度により、継続的に意見聴取	独自性	H23年度	保健所総務課
8	大学と連携した「マンガを取り入れた薬物乱用防止啓発冊子」の作成	文星芸術大学と連携し、「マンガを取り入れた薬物乱用防止啓発冊子」を作成	独自性	H27年度	保健所総務課
9	高齢者グループホームにおける国基準を上回る居室床面積の設定	高齢者グループホームの居室の床面積は、国の基準では「7.43㎡以上」としているが、本市では条例で「10.65㎡以上」と規定しており、より広い居住空間を確保(使い慣れた家具等を設置したり、ベッド・車椅子を利用しやすくした。)	独自性	H24年度	保健福祉総務課

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
10	妊産婦に対する支援の推進	子どもが欲しいと望んでいるにもかかわらず、子どもに恵まれない夫婦への経済的支援及び安心して妊娠・出産できる支援として、不妊治療費や妊産婦医療費を助成 【不妊治療費助成事業】 ・特定不妊治療(体外受精・顕微授精)費について、上限30万(一部17万5千円)まで助成 ・人工授精治療費について、上限3万2千円まで助成(年1回、通算2年) 【妊産婦医療費助成事業】 ・母子健康手帳の交付を受けた月の初日から出産した月の翌々月(産褥期)までの妊産婦に対し、健康保険が適用となる医療費の自己負担分を助成	トップクラス	H21年度	子ども家庭課
11	障がい児発達支援の推進	・全国に先駆け、子ども発達センターを設置し、保健師や保育士、理学療法士等の専門職により、相談から療育まで一貫して対応。 ・また、保育園併設専用施設において、発達が気になる乳幼児及びその保護者が自由に利用できる広場を開設し、親子の交流の場を提供するほか、親子の遊びや保育園児との交流を通して心身の発達を促すとともに、子育てに関する相談や助言、必要に応じて関係機関への紹介を実施	独自性 先駆的	H19年度	子ども発達センター 保育課
12	障がい者への合理的配慮の提供に係る周知啓発動画の作成・放映	・市民や民間事業者等に対して、障がい者への合理的配慮の提供を促進するための周知啓発動画 ・合理的配慮の具体的事例を障がい種別ごとに全6種類作成し、30秒動画として放映	独自性	H28年度	障がい福祉課
13	国・県・市災害対策連絡協議会の設置	市域における災害の発生時において防災関係機関が連携し、迅速かつ的確な対応ができるよう、自衛隊・警察・県・市・消防で構成する組織の運営と合同訓練の実施	独自性 先駆的	H19年度	危機管理課
14	「イベント開催における危機対策の手引き」の作成	イベントの安全を確保するため、計画・準備段階におけるイベント会場や周辺の事前確認、警備体制、緊急連絡体制の他、イベント当日の巡回警備や注意喚起、危機発生時の具体的な対策を示した「イベント開催における危機対策の手引き」を作成	独自性 先駆的	H28年度	危機管理課
15	グリーンアンドレッドリボン運動	市民や地域、事業者などあらゆる機関、団体が一丸となって飲酒運転を許さない地域づくりを進めるために、GRリボンを交通安全運動や地域イベントなどの機会、事業者、学校などを通して市民に配布することで、飲酒運転根絶に係る気運を醸成	独自性	H18年度	生活安心課
16	消費生活相談窓口の常時開設	年末年始を除き、祝日も相談窓口を開設	先駆的 トップクラス	H19年度	生活安心課
17	特殊詐欺対策事業	・市民、警察、事業者等との連携による特殊詐欺対策に向けた「特殊詐欺対策アクションプログラム」の策定 ・重点取組の中で、不審な電話につながりにくくするため、事前に警告メッセージを流す「特殊詐欺撃退機器」の貸与台数は中核市でトップクラス	先駆的 トップクラス	H28年度	生活安心課

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<教育・学習・文化分野>24取組					
1	返還免除型育英修学資金貸付制度	大学, 短期大学, 専門学校(専門課程)の在学者を対象に貸付するもので, 奨学生が, 最終学校卒業後1年以内に本市に居住し, 引き続き, 5年間居住を継続することを要件に, 返還を免除する制度	独自性 先駆的	H27年度	教育企画課
2	宮っ子の誓いの制定	<ul style="list-style-type: none"> ・「宮っ子の誓い」カードを市内の全小中学生に配布し, 「宮っ子の誓い大使」等の認定 ・平成21年度から市内の全中学校に在籍する全ての生徒を対象とした「宮っ子表彰(義務教育9年間皆勤賞)」で表彰を実施 ・平成25年度には「宮っ子の誓い」に掲げる行動の実践を要件とした「宮っ子心の教育表彰・教育長表彰」の制度を創設 	独自性	H19年度	教育企画課
3	学校応援制度	企業名等を掲載した学校用物品(用紙や封筒など)の寄附を積極的に募集する制度	独自性 先駆的	H22年度	教育企画課
4	学校物品有効活用システムへのポイント制導入	学校物品有効活用システムを使用し, 学校間の物品の貸借や譲り受けによりポイントを付与し, 学校の配当予算に還元 ・地域学校園ごとに保有物品のリストを作成し, システムの利用拡大を推進	先駆的	H20年度	学校管理課
5	学校応援基金の活用による特色ある学校づくりの推進	学校を特定した寄付金を受け入れるため, 「学校応援基金」を創設し, 地域と一体となった学校づくりを推進 ・「魅力ある学校づくり地域協議会」が基金を設立し, 管理・運営を実施し, 地域の支援による特色ある学校づくりを推進 ・「魅力ある学校づくり地域協議会」が独自に運営資金を確保できる仕組みづくりに役立つよう, 「学校応援基金ガイドライン」を作成	先駆的	H21年度	学校管理課
6	地域学校園事務室の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区を単位とする地域学校園(中学校1校と小学校2~4校)の学校事務職員で構成 ・地域学校園事務室長を配置し, 共同事務を行うとともに, 学校事務の効率化・平準化や教員の負担軽減, 地域学校園予算の効果的な執行, 職場研修など, 各地域学校園の実情に応じたさまざまな取組を実施 	独自性 先駆的	H24年度	学校管理課
7	「小中一貫教育・地域学校園」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全ての市立小・中学校で, 小中学校の学びをつなぐとともに地域ぐるみで子どもを育てる小中一貫教育・地域学校園を実施 ・小中一貫教育カリキュラムを実施し, 各教科等をはじめ, 本市独自の「宮・未来キャリア教育」「宮っ子心の教育」「元気アップ教育」において, 義務教育9年間を通じた系統的な指導を実施 ・各中学校区の小・中学校で構成する地域学校園において, 地域ぐるみでのあいさつ運動や地域ボランティアによる学校支援など 	独自性	H22年度	学校教育課

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
8	スタンダードダイアリーの活用による学校と家庭の連携推進	・児童生徒が連絡帳・生活ノートとして毎日使用するスタンダードダイアリー(児童生徒の生活の指針となる内容や宮っ子の誓い、心を育てる50の言葉、本市ゆかりの百人一首等を掲載)を、本市立小・中学校の全児童生徒に配付・活用することにより、学校と家庭の連携を推進	独自性 先駆的	20年度	学校教育課
9	「通学路交通安全プログラム」に基づく交通安全対策の推進	・全国に先駆け策定した「通学路交通安全プログラム」に基づき、教育委員会・学校、道路管理者、警察が合同で通学路の危険個所の点検を行い、対策を講じている。 ・さらに、本市独自に市内全68小学校の各学校周囲500mをスクールゾーンとして設定し、注意喚起のための路面標示及び看板を設置	独自性	H25年度	学校健康課
10	元気っ子健康体力チェック	全ての児童生徒を対象に、「新体力テスト」を実施し、本市独自に体力テストと食を含めた生活習慣に関するアンケート結果を分析し、児童生徒の体力向上や健康保持に活用する。	独自性	H21年度	学校健康課
11	小・中学校全校及び給食センターへの栄養職員の配置	全市立小中学校で、質の高い給食の提供や食育の指導を進められるよう、栄養教諭・学校栄養職員の未配置校へ、本市独自に学校栄養士業務嘱託員を配置した。	先駆的	H20年度	学校健康課
12	「お弁当の日」の実施	・全国に先駆けて全市立小中学校で「お弁当の日」を年2回実施 ・また、小中9年間の発達段階に応じた本市独自のねらいを設定した上で、お弁当の献立立案や食事について親子で共に考えることを通して、自分の健康や食の大切さについて自ら判断し、実践できる子どもを育成	独自性 先駆的 トップクラス	H20年度	学校健康課
13	宮っ子ステーション事業の推進	学校を拠点に住民等が主体となり、乳幼児期から学童期までの子どもの育ちを一体的に地域ぐるみで支援するなど、宇都宮独自の運営体制を構築 ①子どもの家・留守家庭児童会 対象となる全ての小学校区毎に、小学校敷地内での開設を基本に、放課後児童健全育成事業を実施しており、放課後児童の安全安心な生活の場を確保 ②放課後子ども教室 小学校の余裕教室等を活用した学習や体験交流活動等を実施しており、放課後児童の安全安心な居場所を確保 ③乳幼児と保護者の交流事業 平日の午前中、子どもの家の専用施設を活用した乳幼児とその保護者の交流の場の提供	独自性	H19年度	生涯学習課
14	魅力ある学校づくり地域協議会の設置・運営	・市内全93小中学校区において、①学校運営への参画機能、②学校教育の充実に向けた機能、③家庭・地域の教育力向上に向けた機能を併せ持つ本市独自の運営体制を構築 ・地域住民や保護者による学校経営への参画、地域コーディネーターによる学校支援ボランティアの調整など、学校と地域をつなぐ役割を担任	独自性	H18年度	生涯学習課 学校教育課

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
15	教養講座「宮の朝活」の開催 (前期・後期)	多忙で日ごろ講座などに参加できない20代から40代の働き盛り世代や大学生を対象に、早朝の時間を有効に活用し、魅力的な学習機会や体験の場を提供する教養講座を開催。講義前後に名刺交換や朝食をとりながら情報交換を行う時間等を設け、参加者間の交流を促進。	独自性 先駆的	H25年度	生涯学習課
16	「家庭の教育手帳」による家庭 における人づくりの推進	・小中学校9年間を通して、家庭教育の充実や学校・家庭の連携促進が図れるよう、家庭で子どもを育てるために必要な学齢期ごとの取組や、小中一貫教育など学校の仕組み、各種手続きの方法などの情報を集約して掲載し、また、子どもの成長記録も一体化させた保護者向け冊子。 ・内容は毎年更新し、市内全小中学校の保護者に配布。	独自性	H22年度	生涯学習課
17	うつのみやこども賞	子どもの読書活動を啓発するため、日本人の作者による新作児童文学作品を対象に、市内の小学5、6年生公募委員が、その年の一番友だちに薦めたい本を選び、賞を授与する事業を日本で唯一実施。	先駆的	S59年度	生涯学習課 (図書館)
18	子どもの読書推進(子どもの読 書環境の充実に向けた図書館 づくり)	・市立小・中学校全校への学校図書館司書の配置による読書環境の充実。 ・南図書館に学校支援室を設置し、多くの児童に図書に触れてもらう機会を提供する「学校巡回図書」サービスや、学校の要望に合わせて、授業で必要とする資料を貸し出す「学校希望図書」サービスなどを実施。 ・高校生の企画・運営による「高校生のための読書推進事業」の実施や高校生向け読書情報誌「MIYATEEN」発行(中央図書館)	先駆的 トップクラス	H18年度	生涯学習課 (図書館) 学校教育課
19	百人一首のまちづくり	・平成7年の市制100周年を機に本市ゆかりの百人一首市民大会を開催。一般市民を対象とした公的機関が主催する大会としては、全国最大規模 ・平成26年度からは、蓮生記念全国競技かるた宇都宮大会を開催	独自性 トップクラス	H8年度	文化課
20	エスペール文化振興事業	・文化芸術活動が顕著で、今後の活躍が期待できる本市ゆかりの芸術家に賞や育成金を授与し、育成・支援 ・地元の若手芸術家を育成・支援する取組を行っている自治体は稀有	独自性	H13年度	文化課
21	妖精によるまちづくりの推進	・妖精をテーマとした公立展示施設「妖精ミュージアム」を拠点に、妖精資料を活用した文化振興・中心市街地活性化に向けた取組を展開 ・妖精をテーマとした取組は、福島県金山町の「妖精美術館」があるが、当施設は冬季休館であり、通年で楽しめる施設は「妖精ミュージアム」のみ	独自性	H19年度	文化課

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
22	冒険活動教室の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を活かした本市冒険活動センターにおいて、宇都宮市立の全小中学校を対象とした独自の自然体験活動、各学校の要望に応じた豊富な活動プログラムを実施(対象:小学5年, 中学1年) ・小中一貫教育の一環として、地域学校園内の小学校・中学校の交流や職員連携(23年度～), 小・中学校の活動につながりをもたせたプログラム(25年度～)を実施 	独自性	H8年度	スポーツ振興課
23	特別支援教室(かがやきルーム)の設置及び指導員の配置	<p>通常の学級在籍の発達障がい等の傾向がある特別な支援を必要とする児童生徒に対し、教育的ニーズに応じた支援を行うために、市独自に全93小中学校に特別支援教室(かがやきルーム)を設置するとともに、各校に専任の指導員を配置し、社会性を身に付ける指導や学習指導などを、個別や小集団の形態で実施</p>	独自性	H20年度	教育センター
24	地域のボランティアを生かした不登校児童生徒への適応支援事業の推進	<p>不登校児童生徒の学校復帰への支援を行う「まちかどの学校」において、地域のボランティア約60名の協力により、対象児童生徒一人一人の興味関心に応じたプログラムを設定し、個別活動や小集団活動を実施</p>	独自性	H16年度	教育センター

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<生活環境分野>8取組					
1	もったいない運動の推進	・「もったいない運動市民会議」と連携し、ひと・もの・まちを大切に する本市独自の「もったいない運動」の更なる認知度向上と実践者の拡大	独自性 先駆的	H17年度	環境政策課
2	再生可能エネルギーの利活用の推進(家庭向け低炭素化普及促進補助金)	冬季の日照時間が長いという、本市の地域特性を活かした太陽エネルギーの利活用により、家庭からの温室効果ガス排出量を削減するため、住宅用太陽光発電システムを軸とした自立・分散型エネルギーの利用を促進	トップクラス	H28 (太陽光への補助はH15)	環境政策課
3	環境協定の推進	・市と事業者との間で、環境負荷への低減等に係る協定を締結 ・工場見学会やパネル展示、騒音・振動の測定機器の貸し出しなど	先駆的	H19年度	環境保全課
4	「もったいないの森 長岡」植樹事業	長岡最終処分場第2埋立地跡地に樹林地を再生し、長岡の土地に緑を回復するとともに、再生の方法として、市民参加のイベント形式による植樹活動等を実施することで、市民が、森や緑の役割や大切さを考えるきっかけを提供	先駆的	H20年度	緑のまちづくり課
5	安全で良質な水への取組	・松田新田浄水場において平成17年にISO9001を、水質管理室において平成20年に水道GLPを取得(「ISO9001」と「水道GLP」の両方取得は中核市初) ・塩素臭から見たおいしい水達成率中核市2位に該当(27年度末)(水道事業ガイドライン指標一覧より)	先駆的	H20年度	水道管理課
6	水道施設におけるクリーンエネルギーの導入	・水道施設の機能や特徴を活かしたクリーンエネルギーを導入(太陽光発電設備、小水力発電設備ともに中核市初) ・再生可能エネルギー利用率中核市1位(27年度末)(水道事業ガイドライン指標一覧より)	先駆的	H19年度	水道管理課
7	水道事業における環境負荷の低減	環境負荷の低減を評価する指標である「配水量1㎡あたりCO2排出量」の少なさ 中核市1位に該当(27年度末)(水道事業ガイドライン指標一覧より)	トップクラス	H19年度	水道管理課
8	水道料金等の収納率	・水道料金 98.72%(H28中核市1位) ・下水道使用料 97.95%(H28中核市2位)	トップクラス	H20年度	サービスセンター

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<産業・経済分野>7取組					
1	UJIターン起業促進補助金	市外からのUJIターンによる起業者を対象に、事業・生活拠点に関する経費、法人設立経費を補助	先駆的	H20年度	産業政策課
2	宇都宮版CSRの構築	宇都宮CSR協議会により、CSRに取り組む市内企業に対し、「宇都宮まちづくり貢献企業」の認証を希望する企業を募集し、審査・認証	独自性	20年度	商工振興課
3	はじめてごはん事業	宇都宮産米の認知度を高め、米の消費拡大に繋げるため、1歳6か月を迎えた子どものいる家庭に対して特色ある宇都宮産米と啓発パンフレットを配付する「はじめてごはん事業」を実施	独自性 先駆的	H27年度	農林生産流通課
4	げんきにごはん事業	食育や地産地消の重要性、農業の大切さなどへの理解を深めてもらうため、新たなライフステージに進んだ新小学1年生、新中学1年生とその保護者に対して、宇都宮産のお米セットと啓発パンフレットを配付	独自性 先駆的	H28年度	農林生産流通課
5	おもてなし運動の推進	本市来訪者の満足度向上を図るために、「おもてなし推進委員会」と連携して市民のおもてなしの心の醸成を図るとともに、民間事業者と一体となって受入環境の向上を図る。	独自性	H17年度	観光交流課
6	施設愛称によるプロスポーツ応援事業	本市を拠点に活動するプロスポーツクラブに対する市民の愛着と連帯感の醸成、及び本市のブランド力向上を目指すために、市有施設にプロスポーツクラブ名を冠した愛称を付与	独自性	H21年度	都市魅力創造課
7	ジャパンカップサイクルロードレースの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・26回目となるアジア最高位の自転車ワンデイロードレースである「ジャパンカップサイクルロードレース」と、8回目となる「ジャパンカップクリテリウム」を開催 ・世界トップカテゴリーの「UCIワールドチーム」4チームに加え、ロードレース界のスーパースターの招聘により、高質なレースを提供 ・未就学児から一般の自転車愛好家まで、あらゆる世代が観て楽しめる、そして自ら参加しても楽しめる自転車の祭典とするため、『JAPANCUP 輪都 宇都宮 プロジェクト』を始動し、未就学児を対象とした「キックバイク大会」や小中学生を対象とした「ユースロードレース」等、様々な付帯イベントを一体的に展開 	トップクラス	H4年度	都市魅力創造課

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<都市基盤分野>5取組					
1	組合施行による市街地再開発事業の推進	組合施行による市街地再開発事業の完了地区数7地区	トップクラス	S61年度	市街地整備課 (再開発室)
2	大谷石蔵(旧公益質屋)の活用事業	固有の資源である大谷石蔵(築70年超)を民間レストランに活用	独自性	H21年度	地域政策室
3	地域住民が主体となった地域内交通の実施	地域住民が主体となり、運行計画を決定し、地元自治会や企業等から協賛金を募るなど、地域内交通を運営(地域の実情に合わせた独自の運行方式)	独自性	H19年度	交通政策課
4	自転車放置防止対策事業(撤去自転車写真の市HPでの公開)	撤去した自転車を撮影し、その写真と保管場所を市HPで公開。	独自性 先駆的	H27年度	道路保全課
5	「自転車のまち宇都宮」の推進	・プロサイクルロードレースチーム宇都宮ブリッツェンとの連携等により、施策事業を総合的に展開 ・自転車専用通行帯の規制延長が全国一位	独自性 トップクラス	H22年度	道路建設課
<都市経営・自治分野>4取組					
1	まちづくりセンターの設置・運営	地域活動団体や非営利活動団体、企業、行政が適切な役割分担のもと、公共的課題の解決に自主的に取り組む市民協働の拠点施設として設置	先駆的	H23年度	みんなでまちづくり課
2	宇都宮大学での「実践・宇都宮まちづくり」講座	宇都宮大学において、本市職員による講義を実施。市職員が講義の企画・運営から、単位認定まで行う。	独自性 先駆的	H20年度	政策審議室 (市政研究センター)
3	政策特集の作成	市政の重要課題等の特集を組み、広報紙の添付ハガキ等により、市民の意見や提案を聴取(年4回)	独自性	H15年度	広報広聴課
4	宇都宮ブランド戦略事業の推進	・市民参加型都市ブランド戦略「宇都宮プライド」の展開 ・情報発信拠点としてアンテナショップ「宮カフェ」を中心商店街に設置、運営 ・宇都宮の暮らしの良さを伝える「ダブルプレイス(2地域生活)」の発信	先駆的	H20年度	広報広聴課